

2024 東北大学オープンキャンパスツアー報告

期 間 令和6年7月30日(火)～31日(水) 1泊2日

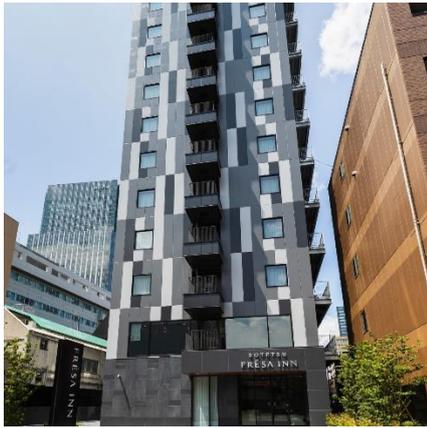
宿 泊 相鉄フレッサイн 仙台 (宮城県仙台市青葉区中央4-4-5) 仙台駅徒歩4分
<https://sotetsu-hotels.com/fresa-inn/sendai/>

日 程	7月30日(火)	7月31日(水)
	7:00 学校 集合・出発 (バス配車 6:40)	6:00 起床 準備 朝食は各自
	↓	7:30～8:00 チェックアウト
	↓バス 途中 SA で各自昼食	↓地下鉄等で移動
	↓	8:30 東北大学 到着
	14:00 震災遺構 大川小学校 到着 語り部の佐藤さんと見学	志望学部学科で見学 (各自昼食)
	17:20 大川小学校 出発	↓地下鉄等で移動
	↓バス	15:00 仙台駅 出発
	16:50 ホテル 到着・解散 仙台駅周辺で各自夕食	↓バス
	21:30 ホテル点呼	19:45 おおたバスターミナル 到着
	22:30 就寝	↓バス
		20:05 学校 到着 解散

仙台駅周辺



ホテル 相鉄フレッサイン仙台



・駅から近く移動や食事、買い物等に便利でした。シングルルームを利用して綺麗で素敵なホテルでした。

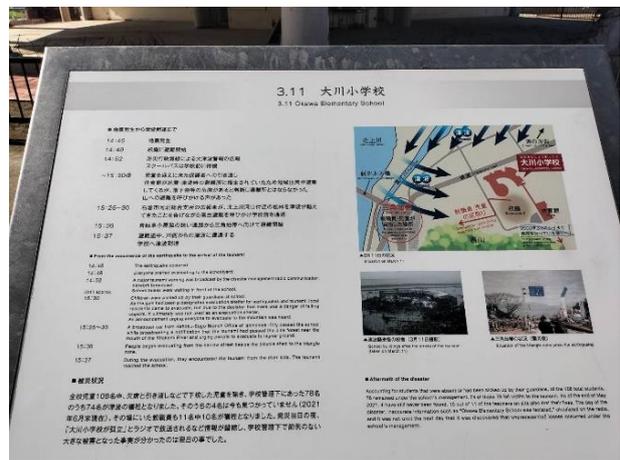
震災学習

「大川伝承の会」代表の佐藤敏郎さんが案内をしてくれました。大川小学校では東日本大震災による津波で児童74名（うち4名は現在も行方不明）、教職員10名の合わせて84名が犠牲になりました。助かったのは児童4名と教員1名だけでした。佐藤さんは震災で当時大川小学校6年生の娘さんを亡くされました。その日のことや、あれから13年間の思いをお話してくださいました。特に「救えた命と救えなかった命について」や、大川小学校は「未来を拓く」場所なんだと強調していました。実際に現地の様子を見ながら貴重なお話が聞けたことはとてもよい経験になったと感じています。

【小さな命の意味を考える会 HP http://311chiisanainochi.org/?page_id=5】

【大川伝承の会 パンフレット http://311chiisanainochi.org/?page_id=4568】

震災遺構大川小学校 【 http://311chiisanainochi.org/?page_id=6186】





お食事いろいろ





東北大学オープンキャンパス 【東北大学 <https://www.tnc.tohoku.ac.jp/>】



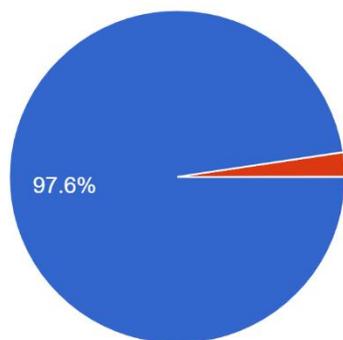


昨年度の卒業生

アンケート結果

大川小学校での研修について

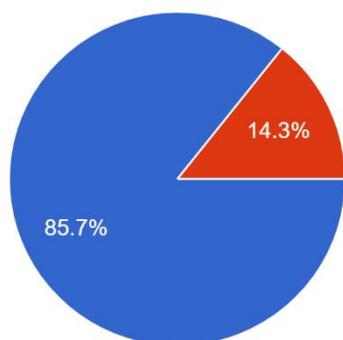
42 件の回答



- 良かった
- やや良かった
- やや良くなかった
- 良くなかった

東北大学オープンキャンパスについて

42 件の回答



- 良かった
- やや良かった
- やや良くなかった
- 良くなかった



※ 次頁以降の感想は生徒が入力した文章になります。修正等していないので多少読みづらい部分もありますがご了承ください。

【大川小学校での研修に参加して感じたことを記入してください】

- ・当時まだ幼かったので3.11がどういうものか理解できませんでしたが実際に体験した方に話を聞き被災地を見ることで想像をしこれからどうやって防災していくかどうしてたくさんの犠牲者を出してしまったのかももう一度考えるべきだとしみじみ思いました。
- ・群馬は比較的地震の少ない県で、海なし県なので津波の脅威もわからないまま大人になろうとしていました。ですが今回の研修で実際の被災地を自分の目で見ることによって、初めて自然の偉大さといざという時の人間の無力さを実感しました。佐藤さん自身もとても辛い思いをされたにもかかわらず、「未来を拓く」ために世界に発信していこうという強い思いが伝わってきました。こどものうちにこのような体験ができたこと本当に嬉しく思います。この研修を受けてこれからの自分の生活が少しでも安全になるように努めていきたいと思いました。
- ・自然災害の恐ろしさと防災の大切さ
- ・災害の恐ろしさと防災の重要性
- ・当時はまだ小さかったので震災の恐ろしさが実感出来なかったけど自分の目で被災地を見ることができて当時の被害の酷さと残酷さがよく分かった。
- ・実際に被災した人の話を聞いたり記念館で展示されているものを見たりして被災地に行かないと感じられないことや知られないことを知ることができた。
- ・災害は怒る前から話し合っただうするかが命を守るためにすごく大事だということを実感した。この体験を通して感じたことを忘れないでいたいと思った。
- ・災害に備える時に「たぶん大丈夫」ではなく、起こってしまったことに対して判断ミスをせずに素早く行動できるようにする事が大切だと感じた
- ・東日本大震災が起きたときまだ小さくてあまり怖さとかその時の事を全然知らなかったが、今回のように実際に被害にあった場所、被害にあった話を実際に見たり聞いたりするとこれからの課題なども知れてより震災について考えることができた。
- ・自分にも関係ある身近なことなのにどこか他人事のように捉えてしまっていたが実際に自分の身に起こってしまった人の話を聞いて自分でもよく考えようと思った。
- ・実際にその場に行って話を聞かないと分からないことがたくさんあるんだなと思いました。学校の周りは整地だったけどそこには家がたくさんあったと聞いて津波の恐ろしさを肌で感じました。もし大きな地震が来たとき全員が落ち着いて自分自身を守る行動をすることが大切なのかなと思いました。多くの人に大川小学校を訪れてほしいです。
- ・初めて被災地に直接行ってみて、いろいろ衝撃的な事があって参加してよかったと本当に思いました。実際に被災地を訪れなきゃわからないことがたくさんありました。東日本大地震のことはほぼ覚えてなかったので、リアルな話を聞けてとても苦しくなったし、これを伝えていってもうこんなことを起こしてはいけないと思うので忘れないようにしたいです。
- ・防災を考える時は自分や大切な人をイメージして準備したいと思った
- ・今まで動画などでは見てきたけど、実際に被災地を見ることができて、とても良い経験になりました。お話をきいてる中でも他人事ではないと感じることがいくつもありました。これからのことについて皆で考えることが必要だとわかりました。
- ・本当にあった話だったんだなと実感することが出来ました。私はまだその時生まれてなかったので、今までは他人事でした。しかし今回の話を聞いて、自分の身にも起こる可能性があるんだなと思いました。
- ・語り部の方がはっきりと当時のことをお話ししていたので少し驚きもありましたが、もっと広めて欲しいとおっしゃっていたので災害の恐怖を知り防災に繋がるのが大切だと改めて気付かされました。

- ・逃げる時の手順や場所などは事前に決めておき、きちんと対策をしておくことが自分や相手の命を守るためにとても大切だと感じました。
- ・いつも通りの3.11が「あの日」に、普通の大川小学校が「あの大川小学校」と呼ばれるようになってしまった。という言葉によって、私たちがいつも生活している中でいつ大災害に巻き込まれるか分からないことを痛感しました。佐藤さん自身が元教師であり被害者の親族であることから、災害の時の先生や子供たちの気持ちまで教えて頂き、自分がその時の先生だったら、大川小学校の生徒の1人だったら、と考えると鳥肌がたつほど不安で、でもどうにか生きたい、という何とも言えない気持ちになりました。さらに、伝承館内で展示されていた時計やパネルに書かれた文章を読んでいると、津波の恐さや被害の大きさが身に染みて伝わってきました。佐藤さんのように震災と向き合い、考え続けること、目を逸らさずにいることは私にもできることなので、私もボランティア活動や募金を通して、震災や、自分で身を守るためにできることを生涯考え続けて行きたいです。
- ・東日本大震災で大川小学校は大きな被害を受けたことがまじかで見てもどのくらい酷かったのか実感しました。元教師であり、大切な人を無くしてしまった被害者でもあるガイドさんから直接話を聞き、どのような状況だったのかやなぜ避難しなかったのかということを知りました。実際に経験はしてませんが自分の様に捉えられて良い経験になったと思いました。
- ・津波の被害の大変さ・辛さを肌で感じた
- ・実際に被災地に行き、どれくらいの高さの津波が来たの目で見て知ることができた。
- ・実際の場所に行くことで、当時の状況を繊細に想像できながら参加できたので震災、防災に関してより考えが深まった。いつも聞いてばかりで実際に目にしたことや現地に行ったことはなかったのでとても貴重な体験ができたと思う。
- ・話を聞いていて、怖い思いをしながら必死に逃げようとしたんだろうなと思うとすごく悲しい気持ちになった。1分1秒の行動一つ一つで未来を変えてしまうことを学んだ。今もきっと辛い思いをしているのに私たちに話をしてくれた佐藤さんには感謝の気持ちでいっぱいになった。大川小学校で感じたことをこれからの未来に繋げられたらいいなと思う。
- ・災害時には自分たちの行動でしか命を守れないのだと改めて感じた。
- ・教科書で説明されてたことよりも悲惨で衝撃的でした。実際に行ってしれたことも多くあるし、聞いて気づけたこともあったのでみんな行くべきだと思った
- ・海が見えなくても津波が来ることに驚いた。実際に現地に行って、語り部さんから直接お話を聴けたからこそ学べたことがたくさんあった。
- ・佐藤さんが被災者だったので感じた思いや悲しみ、意思がとても伝わり、正直話を聞いていて少し辛かったです。佐藤さんの方が何倍も辛い思いをしてきたことを知ってこの人は本当に二度とこのようなことを起こしたくないんだな、これは伝えていくべきことだなと思いました。本当はこのような悲惨なことは起こってはいけませんが、このようなことがあったからこそ救える命が増えたのかなと思いました。事前に大川小学校のことについて学んできましたが実際に行ってみて悲しい場所、思い出したくない場所ではなく未来を拓く場所ということがとても実感できました。この経験を家族、友人に伝えて防災に対する気持ちを考え直したいと思いましたし大切な人を守りたいので誰もが考え直すべきだと思いました。
- ・実際に東日本大震災で被害に遭われた方の話を聞いたり、写真を見たりして、テレビでしか見たことがありませんでしたが、改めて被害の大きさを知ることができました。話を聞いて、被災者はもともとは普通に暮らしていただけで、被害に遭うまでは平穏な日常を送っていた人々だし、かわいそうな話で済ませるのではなく、これから生まれてくる子供たちなどにも語りついで、みんなで考えていくことなんだと思いました。改めて、普段やる避難訓練や防災についてしっかり考えるきっかけになりました。

- ・防災は、自分の命を守るためのものであり、準備と行動に移せる力が必要だと感じた。また、自分の命は自分しか守れないということも強く感じた。
- ・語り部さんの話を聞いて、テレビで報道されているよう災害はどこか他人事だったし、自分や家族が被災する姿を考えた事もなく、考えたくないと思っていたのかなと感じた。話を聞いていると苦しかったけど、これは聞かなきゃいけない事だと思った。何かが起こった時にどう行動するのか決めておくことの大切さが分かった。苦しいこと・悲しいこと・辛いことがあっても、それ以上悪い結果にならないように目を背けないようにしたい。
- ・被災地に行く経験は初めてだったので、テレビではなく実際に見ることで津波や災害の恐ろしさをひしひしと感じました。また、語り部さんの体験談を想像しながら聞くことで、この悲惨な出来事をなかったことにするのではなく、私達が次にそのようなことを起こさないための学びにしようと思えました。
- ・自然や津波の脅威を改めて身をもって感じられた。普段の防災について考え直し、防災意識を高める機会になった。
- ・実際に災害起こってから行動するのでは遅く、事前に決めておくことが大切だと感じました。佐藤さんのお話を聞いて起こってしまったことを塞ぐのではなく、未来に伝えていきたいと思えました。
- ・被災地に行ったことがなく、自分の目で見てみて災害の悲惨さを感じたけど、元々はありふれた日常で元から特別なわけではなく、自分だっていつ災害が来てもおかしくないんだと再認識した。学んだ事を今後に生かすことで、向き合っていきたいと思った。
- ・私には東日本大震災のとき記憶がほとんどないので、どこか他人事のような感じだったけれど、自分事として捉え、何が自分にできるのかを考え続ける必要があると思えました。
- ・その時被害にあった人たちがどういう思いだったか、また、これからこのような被害を少なくするためにはどうしていくべきかを考えて、今回聞いたことを多くの人に広めて行きたいと思った。
- ・被災地に実際に訪れてみて、その場所でどんなことがあったのか、また被害が起こる前の姿を自分の目でみることで良い経験になった
- ・話を聞いて大川小学校の子供たちは助けられた命かもしれないなかったということを知り、子供たちの家族はどんなに悔しいだろうと思えました。いつも避難訓練の後家族と避難経路の確認をしようと思えますが、結局確認していません。心のどこかで群馬に地震なんて来ないだろう思っていました。けれど今回の話を聞いて前もって決めておくことがどれだけ大事かわかったので、しっかり家族と話し合いたいと思えました。
- ・実際に自分の目で見て、東日本大震災の惨劇は本当に起こったのだと衝撃と同時に、今までの防災に対する自分が意識の足りなさに気がついた。今回、肌で感じたことを忘れず、自分事として考え、未来を拓いていきたい。
- ・お話を聞いていてとても胸が痛くなりました。今までだったら、辛いからという理由で目を背けていたと思います。しかし、佐藤さんが話されていたように、事実を受け止め、それを伝えていかななくてはならないのだと思えました。「未来を拓く」ため、ハッピーエンドを迎えるために、災害が起こる前に起きた後のことを考えなければならないのだと強く思いました。
- ・お話を聞いて感じたことは言葉にすることがとても難しいことでした。私もその時生きていて経験していたはずなのに覚えていないことが他人事のように悲しくなりました。経験していない人が知ることはまだしも経験していた人が覚えてないことが悔しいと感じました。どの言葉が適切なのかも分からなくて言葉にするのがとても難しいものでした。
- ・震災を経験し、自分の中の大きなものを失った方からの言葉の重みは段違いで聞いていて胸がとても痛かった。恐怖は命を守るために学ぶという言葉が特に響いた。もっと直接学びたいと思った。

【東北大学オープンキャンパスに参加して感じたことを記入してください】

- ・なかなか、自分で東北まで来ようとは思わなかったので、大変貴重な時間でした。東北大学も進学の視野に入っていたので、調べていたときのイメージとの違いを見つけられたのでよかったです。
- ・研究室や大学のイメージが全くなかったのが、目に入るものすべてが新鮮でした。文学部の様々な学科の研究室を見学したのですが、研究室ごとに特徴があり、自分に合う学科を選びやすそうだなと感じました。
- ・実際の大学の雰囲気を感じることができた。進路選択の参考にしたい。
- ・専門的なことを大学生や教授などわかりやすく説明してくれて、難しい内容でも理解できて興味を持つことができました。私はまだどんな学科に行きたいとか、迷っているので理学部のいろんな学科の展示をみれて、今後の進路決定の参考にできそうです。
- ・学生がいろんな質問に答えてくれた。
- ・東北大学ならではの特色が沢山聞いてとてもよかったです。模擬講義も実際に受けてみて、色々知れましたし、受験したくなるようなとても素晴らしい大学だと感じました。
- ・いろいろな県からたくさんの高校生が来ているなという印象でした。勉強だけでなく、寮では必ず留学生と一緒に生活するなどグローバル化などにも対応しているのだなと感じました。
- ・色々な研究をしていて分からなすぎて面白かったです。臨床検査の方も見学したんですけど、研究してるところを見ときたかったなと思いました。
- ・模擬講座を受けて、大学生への憧れができた。
- ・キャンパスツアーを通して色々な分野の学科があると改めて感じ、自分に合った場所を選びたいと思った。薬学部の概説では入試や進路について聞くことができた。
- ・大学に関してあまり実感が湧かなかったけれどこれから大学選びをしていく上ですごく大事な経験になったと思う。
- ・実際に校舎や植物園、研究内容などを見て、さらに薬学部について興味を持てたし通えるようにもっと勉強をがんばらないなと思いました。特に薬用植物園を見学して、身近にある植物や聞いたことのある草などが薬になって、いろいろな効果があるということを知れておもしろいなと思いました。
- ・有名な名門大学は勉強する環境と人がとても整っていると感じました。
- ・人が素敵だと思った。
- ・青葉山キャンパスに行くと大学の広さにびっくりしました。生物学科では色々な研究について話を聞いて、知らない生き物をたくさん知れて楽しかったです。わたしもこんなに広い敷地でのびのび学べたら良いなと東北大学により興味を持つことができました。
- ・自分のまた学部がどのような学部かがある程度わかったので、今後の大学決めに役立てたい。
- ・薬学部の細かいことについて知れたので良かった。また、実際にキャンパスに行くとどんな環境で6年間過ごすのかがわかって良かった。
- ・とても有意義な時間を過ごすことができました。何よりも先輩方が楽しそうに研究内容を話されていたのが印象的でした。自分が大学に行ったら…というビジョンが見えてきました。「好き」で選んでいいのかと迷っていたのですが先輩方が「かっこいいから」「好きだから」という理由で選んでいると知って背中を押された気がします。オープンキャンパスに行くと、今までにないくらい「勉強したい」と思えるようになりました。
- ・大学は設備が整っていて、研究とか色々できる
- ・沢山話を聞いて楽しかった。進路の選択肢が広がったし、学びたい分野が少し分かったから来てよかったです。
- ・大学生の人たちがとても優しくとても良い雰囲気だなと感じました。
- ・自分の好きなことを見つけられるところだと思った

- ・大学では高校とは全く違うことを研究できて感動しました。高校は結果として出てるものを学ぶけど大学では自分で未知のものを研究していく。という大学生の言葉が凄くかっこよかったし、自分も未知のものを研究したいと感じられました。
- ・ホームページやネットで見るとよりも実際に見たり体験したことで印象が大きく変わった。東北大学生の研究を直接聞くことができ自分も頑張りたいって思えた
- ・キャンパスを回ってよりこれからの勉強のモチベーションが上がった
- ・大学ってどういう所かをまず知れてよかった。これから大学を調べる時にここを大事にしたい！！って思えるところがあったので参考にする。
- ・自分が今まで興味のなかった学科に行ってみたり、興味のあったところに行ってみて研究が細かいのすごいと圧倒されることが多かったです。とにかく広くて各学部を移動するのが大変で意外と時間が少なかったですが行きたかったところに行けたのでよかったです。科が違ってもこの結果は違う科と協力して証明できるなど学科を一つに決めるからといって他のことはできないなんてことはないことを学びました。
- ・研究室見学ができたので、入学したらどのような場所でどのような研究をすることができるかがとても分かりやすかったです。また、様々な大学生や大学院生の話が聞けてよかったです。
- ・もっと勉強が必要
- ・大学生から受験期の話とか聞けたのでよかったです。大学の雰囲気が知れて楽しかったです。
- ・想像よりも数倍楽しく勉強になりました。まずキャンパスが広く綺麗でグラウンドも広く学食も美味しかったです、勉強しやすい環境だと思います。また教授や先輩方の話を聞き専門的な話や進路の話など詳しく聞けてよかったです
- ・大学で学べる学問や研究が詳しくしれた。また、自分がやってみたい研究を探してみたいと思いました!!
- ・自分の興味がないと思っていた分野でも、見学したら面白かった。大学には、自分と同じような分野が好きな人が集まるから楽しそうだった。
- ・実際に注射を打ったり、呼吸の違いを詳しく教えてもらえた。
- ・生徒さんから直接話を聞いて興味が出てきたり、勉強になることを沢山教えてもらい、行って良かったなと思いました。
- ・周りの人が全員頭良く見えた。先生の言っていることが全て理解できなくて勉強をもっと頑張ろうと思った。
- ・理学部は数学、物理というイメージしかなかったが、東北大には地球物理があるのを知り、そっちにも興味があった
- ・とにかく広がった。また、東北大学にある病院は肺移植が出来て、日本で2つしかない内の1つらしくびっくりした。
- ・高校と全然違うんだなと思いました。
- ・星稜キャンパスは、大学病院と併設されていて非常に広がったです。樹木が並び、セミが大きな鳴き声をあげているすぐ近くに鶯があり、自然豊かで気持ち良かったです。分館(図書館)はとても静かで自習室だけではなく友達同士で話し合いやレジュメを写せるスクリーン付きの部屋もあり、書庫も多くて充実していました。看護の実習体験が時間制限があり受けられなかったのが悔しかったです。しかし、キャンパス内の学生たちは明るく笑顔で、気さくな方が多く、学生生活はとても楽しそうでした。学食の購買にあったおにぎりも大きくて美味しかったです。
- ・わからないことが多かったけど初めて大学を間近で見れてすごくよかった。
- ・今まであまり興味を持っていなかった研究室に1番惹かれたので、やっぱり自分の目で確かめるのが大切なんだなと改めて思いました。

【今回の東北へのツアーを通して感じたことやご意見等を記入してください】

- ・様々なことが自分次第だったので計画を立てて行動するという経験する良い機会だったと思いました。
- ・キャンパス内が広すぎるので事前に敷地をチェックすると良いと思う。
- ・集団で行くことで、協力することや1人で行動すること、電車や公共のルールを学べる良い機会だと思いました。
- ・今まで話したことが無い人とも話すことができ、交友関係を広げる良い機会にもなると思った。
- ・とても良かったです。
- ・大川小学校の話はすごく大切な経験になった
- ・自分たちで時間を考えながら動くというのが良かったです。自己責任ですが、そのような状況におかれることがあまりないので良い機会だと思いました。
- ・サービスエリアによる回数が多いと思った。楽しかったです。
- ・学びもありつつ仙台を楽しめてよかったです
- ・大川小学校に行ったのも東北大のオープンキャンパスもとても良い経験になりました。大川小学校で見聞きし考えたことや東北大で感じたことをこれからの自分のために活かしていきたいです。
- ・2日間楽しかったです。東北大や大川小学校に行けて貴重な体験が出来て良かった。先生が補助席だったのでちょっと可哀想だった。
- ・色々なことが勉強になったし、牛タンも食べることが出来たので最高でした！
- ・宮城県にも行ったことがないし東北大学にも少し興味があったので参加しました。始めて分厚い牛タンを食べたり、友達と2人で電車に乗って大学に行ったり仙台駅でおみやげを買ったり、とても楽しく思い出に残る2日間でした。お金を出してくれた両親や、安全に楽しませてくれた先生方に感謝したいです。本当に良い経験になりました！ありがとうございました！！
- ・自由時間が多く、仙台もいろいろ散策できました。大学見学もためになったと思いますが、大川小学校で聞いた話も衝撃的でとても心に残りました。
- ・中々行けない大川小学校に行き、知らなかったことを教えてもらったり、オープンキャンパスで色々な学科を体験できたりして、学校選びに役立ったりして、とても良い経験ができたと思いました。そして、とても楽しかったです！！
- ・とても楽しかった。自分の知らなかったことをたくさん知れたので、充実した2日間になったと思う。
- ・充実していた。楽しかったし、自分のためにもなってよかった！
- ・1泊2日だったけど充実したツアーを過ごすことが出来た。先生がめちゃめちゃ優しくかったです
- ・自分たちで考えて行動するのが楽しかった。東日本大震災当時の状況について詳しく知らなかったけれど、佐藤さんから直接話を聴いて当時の絶望や悲しみが伝わってきた。語り部さんからでなければ、分からないことがたくさんあると感じた。語り部さんの話を聴く時間はこれからも設けたほうが良いと思った。
- ・上着と傘は持ち歩くべきだと思います。とても楽しいので来年進路をちゃんと考えた上でもう一度伺いたいです
- ・一日目はとても気持ち的に楽に過ごせた日ではありませんでした。でも行かなければ分からなかったこと、聞かなければ知らなかったこと、を感じる事が出来たと思い、貴重な体験でした。大学は自分が志望していなくても他の大学を見ること自体がわくわくしました。
- ・2日はあっという間で短すぎたとすら感じました。そのくらいいろいろなことが充実していて、楽しかったということです。とても有意義でした！欲を言うとチェックアウトの時間がもう少し遅くてもいいと思います。開場が10:00にもかかわらず着いたのは8:50でした。(工学部だったから早く着いたのかはわからないのですが)なので、忘れ物を減らすためにもチェックアウトの時間はもう少し遅くてもいいと思います。

- ・今まで自分たちだけで自由に一日行動することが少なかったのをそれを経験できたことはよかった。
- ・学ぶことが多くあったので、今後に活かせるようにしたい。
- ・1日目の大川小学校のお話ではつらい話とかも色々聞いたけど、知れてよかったしそれをたくさんの方に伝えたいと思いました。東北大学では学校の風景や経済学部の特徴を知り、模擬講義を体験して、とても勉強になりました。自分の大学選択にもいい参考になりました。また友達と長時間過ごして、とても楽しかったし、より仲が深まったと思います。すごく楽しい東北でした！！
- ・大学が大変そうってイメージから自分のやりたいことが詳しく学べる場所になった。
- ・災害についてもっと詳しくしれ、自分の身に起きた時どうすれば良いかということを考えさせられた。また、オープンキャンパスでは、自分の将来についてどのようなことをしたいのかということを考えられてとてもいい機会でした！とても楽しかったです！
- ・このような機会がなければ行かないところにいけてこれからの考えが変わったりとても考えさせられることが多く行ってよかったと思いました。
- ・大学生の先輩が優しく対応してくれたし、困ってる人にも手を貸してくれる人が多くて好印象でした。先生方も面白そうで学校生活が楽しそうでした。
- ・大川小学校の話は、本当な聞いてよかったと思う。家族にも伝えたい。東北大オープンキャンパスは自分ではなかなか行けないから、このツアーに参加して良かったなと思った。
- ・東北大学のオープンキャンパスだけでなく、大川小学校の訪問やお話を聞くことが出来て、貴重な体験になった。自分で観光に来ていたらきっと大川小学校に行くことはなかったと思うので、ツアーに参加して良かったと思う。今後防災訓練では本当に自分が逃げていると思って行動したい。ツアーは全体的に自由行動が多かったのが自分たちで調べて好きなところで食事やお土産選びができたので、ルールやマナーを守りながらも十分に楽しめた。私服だったので動きやすかった。ホテルでは個室だったので十分にリラックス出来てぐっすり寝れたため、翌朝も早くスッキリ目覚められた。東北まで個人で来るのは移動や宿泊の手続きが多くて大変だと思うので、学校がこのようなツアーをしているのは本当に良かった。友達とは行動を共にすることで新たな一面にも気づくことが出来て面白かったです。
- ・大川小学校は、佐藤さんが話されていたように、ただただ見ただけではなぜ残っているのか、何の跡なのか全く分からないので、当事者の方にお話を聞いてとても良い経験になりました。東北大は、個人的に行きたかった学科も含めて、いくつかの学科が30日(火)にしか開いていなかったのが、見学できず少し残念でした。
- ・大学受験の具体的なイメージを抱くことができてとても刺激になった。
- ・ツアーが決まってからツアー当日まであまり時間がなく計画がバタバタしてしまった。それでもペアの子と協力して目的のことを達成でき、交通機関などの利用を通して社会見学できたので良い経験ができたと思う。
- ・来て後悔はしない！！！！！！
- ・楽しい時間も多かったし、ご飯も美味しかったし、学ぶことも沢山あって充実した2日間でした。大川小学校や東北大学へ行ったことで気づくことや自分が今何をすべきなのかを明確とまではいかないけど掴めた気がしました。
- ・自分で東北大学へ行こうとすると大変なので、今回のツアーは友達と一緒に、バスで行けたのでとても良かったです。また、大川小学校での語り部さんのお話はとても貴重な経験となりました。津波や災害は、群馬県に住んでいるとあまり考えることもなく、防災も怠り気味になってしまうので、実際に大川小学校へ行って聞く語り部さんのお話は、とても心に響きました。仙台を十分楽しめてとっても良かったです！
- ・元々東北大学のオープンキャンパスには行こうと思っていたけど、ツアーを通して夜ご飯とか誰かと一緒にできたからこそもっと楽しかったと思った。これまで、東北地方に行くことがなかったから、ただ大学を見て回るだけじゃなくて、地域のことも少し知れてよかった。

- ・大学以外にも観光としても楽しめたので、とてもよかったです！牛タン美味しかったです!!
- ・自分で行く場所や時間を決めて行動できるのが勉強になってとても良かったです。
- ・1人でやる楽しさが分かりました。
- ・もっと長くキャンパス内をみたかったです。

【謝辞】今回のツアーを開催するにあたり、ご理解とご支援をいただきました保護者の皆さまに心から感謝いたします。ありがとうございました。また本校校長先生、教頭先生を始め1、2学年、探究部、進路指導部の先生方、そして旅行代理店の担当者様にも感謝いたします。ありがとうございました。

昨年度に比べるとやや過ごしやすかった感じはしますが、酷暑であったことと急な雨など天候が不安定な中でのツアーとなり参加生徒の負担も大きかったのではと思っています。それでも参加生徒たちの書いてくれたアンケート結果を読ませていただくとしっかりとした研修ができたと感じています。

大川小学校では震災の怖さだけでなく、事前の準備や訓練の重要性に加えて、「未来を拓く」心の大切さを学んだ気がします。これからの未来を担う子どもたちが、こうした震災や様々な困難から目をそらさず向き合っ、よりよく生きていきたくないと願っています。これからも語り継がれていって欲しいです。また、指定国立大学である東北大学への見学を通して、直接大学の施設や研究に触れ、今後の進路についてより深く考えることができるようになったと思っています。こうした経験が今後の高校生活に活かされると信じています。今後とも生徒たちの健全育成と学力向上に尽力いたします。本当にありがとうございました。

担当職員一同